

【水を大切にする】

沖縄県

鏡原中学校 一年

佐渡山 愛

皆さんはもし、この世界から水がなくなったらどうしますか。

私達が生きていくために必要な水。その水は飲み水など、たくさんな場所で活躍しています。今では私達の生活になくてはならない大切なものとなっています。

よく「水を大切に」という言葉を聞きます。

私も、水という資源を大切にしないとイケないのは分かっています。しかし、「蛇口をひねると水が出る」のが当たり前すぎて、「水には限りがない」「たくさん使っても大丈夫」と思ってしまったって、水の出っぱなしなどの、無駄使いをするようになりました。

夏休み中の今、陸上や部活動などが毎日のようにあります。陸上は月水金の午前中、その後にダンスの練習、部活は毎日昼からというような感じで、毎日学校に行かなければなりません。陸上やダンス、部活などは、とても喉が渇きます。でも私は、水筒を持ってきていないため、いつも冷水機の水を飲むか、友達の水筒の水をもらうかで、自分で水筒を持つてくる事はありませんでした。

そのため、陸上の練習が始まると、あまり水を飲まないようになりました。

友達の水筒の水をこれ以上もらうのは悪いし、だからといって長い列をつくってまで冷水機の水を飲むのは時間がなくて「水は飲まんどころ」そう思いました。すると、その日の陸上後のダンスの練習で、気分が悪くて、少しめまいがしました。「やばい、熱中症だ」と思い、冷水機の水を飲もうと思ったけど、その日は雨の影響で停電していたため、水を飲めませんでした。水を飲むのをあきらめた時、私の友達が「これ、飲むか」と自分の水筒を渡してくれました。

その後、停電もなお、冷水機の水を飲むことができませんでした。少しづつ気分もよくなっていき、その日の昼からの部活では普通にできるよになっていました。

私は心の底から「水があつて良かった」と思い、水の大切さを改め

て実感しました。

水は私達人間だけでなく動物や植物が生きていくためになくてはならない、大切な必需品です。そんな水だからこそ、「水の価値」や、「水の大切さ」に気づかなければなりません。

世界には、「水が飲めない、学校に行かず水を汲みに行く」のが日常という人がいます。同じ人間なのに、「学校に行ける」「蛇口をひねると、水が出るのが当たり前」という人と、「学校に行かずに、水を汲みに行くのが当たり前」という人がいるように、こんなにも、「水」の在り方がちがうのはおかしいと思います。

私達の生活にかかす事のできない水は、料理にも、お風呂にも、そして飲み水としてもとても重要な役割を持っています。水が無いと、みそ汁などの水を使った料理が作れない、水が出ないとお風呂にも入れない、水も飲めない。そうならないために、そして、そんな水とこれからも共に生きていくためには、「水を大切にする」「水の価値」を一人一人が考えて、意識して、行動にする事によって、限りある資源「水」とこれからも共に生きていけると思います。